

(単元) 世界戦争と平和 (世界史 A), 近代の日本と世界 (日本史 A)

(本時のねらい)

本時では、大正期の本校校誌「芳越」を史料として取り上げ、旧制脇町中学校の学校生活の記録や学生らが記した文章を読み取る。その際、「校則・規範」「カリキュラム(授業時間配当表)」「進路」「生徒の作文(戦前)」「生徒の作文(戦後)」の5つの視点から丁寧に行うことで、当時の教育の目的や理想とする学生像などについて具体性を持ちながら考察する。これらの活動を通して、歴史資料の読み取りや情報をまとめる技能を高める。

(ICT 活用方法)

電子黒板の活用 (①目的②場面③方法)

- ①-1 本時の活動内容や班内役割などを提示して、確認させる。
- ①-2 膨大な史料のため、生徒にすべての史料を配布できなかった。生徒は、班に割り当てられた以外のテーマ史料については、電子黒板に映された史料を見て確認する。
- ②導入部分 (①-1)。展開前半 (①-2)
- ③プレゼンテーションソフトによるスライド史料の提示。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 (5分)	○本時の主題を確認する。	○生徒の興味をひくエピソードを取り上げ、生徒の興味を惹く。	○本校の学校誌「明治35年のラブレター」の記事のスライドを投影。 ○本時の活動内容についてスライドで提示して確認。
展開 (42分)	○史料「芳越」を読み取る。 ○各グループの読み取ったことを発表する。	○「校則・規範」「カリキュラム(授業時間配当表)」「進路」「生徒の作文(戦前)」「生徒の作文(戦後)」の視点に分かれ、与えられた史料を読み取る。 ○個人での読み取りをグループ内で共有し、まとめる。 ○各視点から読み取ったことをもとに、当時の教育や求める人材について考えをまとめる。	○手元の紙史料に加えて、スライドでも史料を提示。

		○他グループの発表を聞き、各視点ごとのまとめをメモする。	
まとめ (3分)	○まとめと感想	○ワークシートに史料を読んだ感想・評価を記入する。	

< 図1 グループワークの様子 > < 図2, 3 電子黒板を使った説明の様子 >



図1



図2

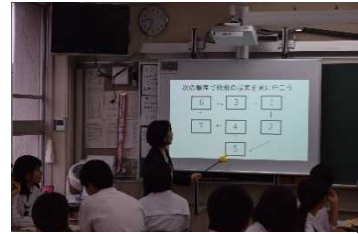


図3

< 使用したワークシート1 >

日本史・世界史合同授業（歴史総合）ワークシート⑥ No.1		HRNO () 名前 ()
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">本時の問い： 当時の日本はどのような教育で、どのような人材を求めたか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">WORK 1. それぞれの視点で「本時の問い」について校誌『芳越』から読み取ろう。</div> <p style="font-size: small; margin: 0;">○読み取りのヒント（こんな点からもアプローチしてみよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違和感を感じた点（現在と異なる点） ・共感できた点（現在と似ていると感じた点） ・当時の社会情勢を感じた点 		
グループの視点：		
個人で読み取ったこと		
グループでのまとめ		

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

1時間での史料の読み取りをしなければならず、短時間で要領よく活動内容を理解する必要があった。その点で、電子黒板を使った説明が効果的だった。口頭での説明を文字や図を見ながら聞くことで混乱無く作業に入ることが出来た。また、すべての生徒に配布できない史料を電子黒板で提示して読み取らせる事も出来た。画像が明るくて見やすく、電子ペンで書き込むことも可能で、時間の短縮や生徒の理解を助ける効果的な方法であった。

今回は、活動内容の関係から生徒の発表活動にはホワイトボードを使ったが、教員、生徒ともに機器の使い方に慣れ、活動内容によっては電子黒板を利用した発表や生徒の解答を映しながら添削するなど、今後も活用していきたい。